

事業継続力強化計画策定セミナー

事業継続力強化計画とは、中小企業者が自社の災害リスクなどを認識し、防災・減災対策の第一歩として取り組みのために、必要な項目を盛り込んだ災害対策などを記載するものです。この計画を策定し、経済産業省からの認定を受ける「補助金（ものづくり補助金等）の優遇措置」「税制優遇」「低利融資」などが受けられます。専門家が策定支援を行う個別相談会も開催します。詳しくは、ホームページをご覧ください。

日時 10月3日(木)、11月5日(火)、いずれも午後1時30分～4時30分

内容 第1部「事業継続力強化計画認定制度とは、事業継続力強化計画策定の手順・ポイント、事業継続力強化計画策定」清水和也様(和コンサルディングサ)

第2部「復旧・復興に役立つ損害保険制度について」山根大哉様(三井住友海上火災保険)大阪南支店岸和田支社

定員(各日) 会場20人、Zoom 20人(定員になり次第締切)

◆無料個別相談会(希望者)日時 10月15日(火)、11月19日(火)各日①午前10時30分

②午後1時③午後2時30分

申し込み ホームページをご覧ください

お問い合わせ先 貝塚商工会議所

072-432-1101

QRコード

健康

高齢者のインフルエンザと新型コロナウイルス感染症予防接種費用助成

助成対象期間 10月1日(火)～令和7年1月31日(金)
対象 接種日当日①65歳以上の市民②60～64歳で、心臓・じん臓・呼吸器の機能にヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害があり日常生活が極度に制限される方(身体障害者手帳1級相当)

費用はありません。0000円(インフルエンザ)0000円(新型コロナウイルス)
申請は必ず、事前に要申請。無料接種券を交付。接種後に申請しても費用の助成はできません。
持物 マイナンバーカードなど住所・氏名・生年月日などが確認できるもの、身体障害者手帳(②の方のみ)
※市外に入院・入所者は、要問合せ。
申請・問合せ先 健康推進課
072-432-7011
ホームページ

Table with 6 columns: 医療機関, インフル, コロナ, 医療機関, インフル, コロナ, 医療機関, インフル, コロナ. Lists various clinics and their COVID-19/Influenza status.

ほっすピタル・かいづか
アトピー性皮膚炎の診断と治療
日本皮膚科学会ガイドライン2021によりますと、「かゆみ」「特徴的皮疹(発疹)と分布」「慢性反復性経過」という3つの基本項目を満たすものをアトピー性皮膚炎と診断することになっています。
アトピー性皮膚炎の特徴的皮疹と分布に関しては、乳児期・幼小児期・成人期によって違いがあります。
乳児期の皮疹は急性病変が目立ち、頭や顔に始まり、しばしば体幹・四肢に下降します。幼小児期の皮疹は急性病変が目立ち、頸部や四肢関節部に多くみられます。成人期の皮疹は慢性病変が多く、上半身に皮疹が強い傾向があります。
アトピー性皮膚炎の治療方法としては、
①薬物療法②スキンケア③悪化因子の検索と対策の3つが基本となります。
①薬物療法 まずはぬり薬が基本となります。現時点で、有効性と安全性において強く推奨されるのは、ステロイド・タクロリムス・デルゴシチニブとなっています。のみ薬は、抗ヒスタミン薬・シクロスポリン・ステロイド・漢方薬・バリシチニブなどが用いられます。また、最近は生物学的製剤とよばれる注射薬が登場し、高価ではありますが、治りにくい患者さんに対しても治療の選択肢が増えつつあるところ。
②スキンケア 保湿剤外用や入浴・シャワー浴が推奨されています。
③悪化因子 汗や服などの刺激、接触アレルギー、食物・吸入アレルギー、細菌や真菌、ストレスなどがあり、それぞれ対策が必要です。
皮膚科部長 永尾淳

貝塚市医師会 ☎072-423-4130
うつ病とは
「うつ病は、脳内の神経伝達物質『セロトニン』『ノルアドレナリン』が減ってしまう病気だと考えられています。これらの神経伝達物質は精神を安定させたり、やる気を起こさせたりするものなので、減少すると無気力で憂うつな状態になってしまいます。症状は、始めのうち、こころの不調ではなく体の不調や行動の問題として現れることがほとんどです。とくに思春期にはそうした傾向がより強いといわれます。うつ病は日本人の約15人に1人が一生のうちにかかるという非常にありふれた病気です。早めに適切な治療を受けることが必要です」(厚生労働省ホームページより抜粋)
昨今では心療内科も敷居が低く、なにかと相談で来られる患者さんも増えていますが、手軽にできるネット検索をすればよい、という時代になっているのも確かです。しかし、ネット検索には「いいえ」という選択肢がありません。偏った検索結果が出てそれを判断できないのです。悩んだ時は安易な検索に頼らず、リアルな世界で誰かに相談してみるのも必要ではないでしょうか。

つげさん手話コーナー
手話をご紹介します。
知る・分かる
右手のひらを胸に当て、下におろす。
問合せ先 障害福祉課 ☎072-433-7012

広告